



ファームウェアバージョン:	R1.01.B031	
ハードウェアバージョン:	DXS-3600-54T DXS-3600-54S	A1
発行日:	2023/6/23	

本リリースノートには、D-Link 製スイッチのファームウェア更新に関する重要な情報が含まれています。ご使用のスイッチに対応するリリースノートであることを確認してください。

- 新しいスイッチにインストールを行う際には、デバイス上のハードウェアバージョンの表示を確認し、ご使用のスイッチがファームウェアのシステム要件を満たしていることを確認してください。ファームウェアとハードウェアの互換性についての詳細情報は、“変更履歴とシステム要件”の項を参照してください。
- 新しくリリースされたファームウェアへのアップグレードを行う場合は、“アップグレード手順”の項を参照しながら正しい手順でファームウェアのアップグレードを行ってください。

スイッチ本体に関する詳細な情報が必要な場合は“ユーザマニュアル”を参照してください。

目次:

変更履歴とシステム要件:	2
アップグレード手順:	2
CLI を使用したアップグレード手順:	2
Web GUI を使用したアップグレード:	4
追加機能:	8
MIB 及び D-View Module の変更点:	8
CLI の変更点:	8
修正した問題点:	8
既知の問題:	9

変更履歴とシステム要件：

ファームウェアバージョン	リリース日付	モデル	ハードウェアバージョン
R1.01.B031	2023/6/23	DXS-3610-54T DXS-3610-54S	A1

アップグレード手順：

CLI を使用したアップグレード手順：

1. スイッチの RS-232 シリアルポート（コンソールポート）と PC を接続し、ターミナルソフトウェアを起動します。ターミナルソフトウェアの設定は下記の通りです。（本手順書ではターミナルソフトウェアは Tera Term を使用しています。）

- ボーレート：**115200**
- データビット：**8**
- パリティ：**none**
- ストップビット：**1**
- フロー制御：**none**



2. 接続が正常に行われると、ユーザ名とパスワードの入力を求められます。管理者のユーザ名及びパスワードは、初期状態では登録されていないので「enter」キーを 1 回押し、ログインします。
3. ログイン後は下記のコマンドを使用し、ファームウェアのアップデートを行います。

コマンド	説明
enable	特権レベルに移行します。
configure terminal	グローバルコンフィグモードに入ります。
exit	現在のコンフィグモードを終了し、最後に使用したモードに戻ります。
copy tftp://LOCATION/SOURCE SOURCE-URL flash: PATHPATH-FILEFILE-NAME	スイッチにファームウェアをダウンロードします。
boot image	次回の起動時にイメージファイルとして使用されるファイルを指定します。
show boot	現在のブートイメージと設定ファイル名を表示します。
reboot	スイッチをリブートします。
show version	スイッチのバージョンを表示します。

次ページの例を参考にファームウェアのアップデートを行ってください。

例:

- (1) スイッチにファームウェアをダウンロードします。

```
Switch>enable
Switch# copy tftp: //10.90.90.100/DXS3610_A1_FW1_01_B031.had flash:
DXS3610_A1_FW1_01_B031.had

Address of remote host [10.90.90.100]?
Source filename [DXS3610_A1_FW1_01_B031.had]?
Destination filename [DXS3610_A1_FW1_01_B031.had]?
  Accessing tftp://10.90.90.100/DXS3610_A1_FW1_01_B031.had...
  Transmission start...
  Transmission finished, file length 50004512 bytes.
  Please wait, programming flash..... Done.
```

- (2) ブートアップイメージを指定します。

```
Switch#
Switch#configure terminal
Switch(config)#boot image DXS3610_A1_FW1_01_B031.had
Switch(config)#exit
Switch#show boot

Unit 1
  Boot image: /c:/ DXS3610_A1_FW1_01_B031.had
  Boot config: /c:/config.cfg
```

- (3) スイッチを再起動します。

```
Switch#reboot
Are you sure you want to proceed with the system reboot?(y/n) y
Please wait, the switch is rebooting...
```

注意：

スイッチのアップグレード中及び再起動中に、電源を切らないでください。電源を切ると、起動に失敗し、起動できなくなることがあります。故障の原因となりますので、ご注意ください。

(4) バージョンがアップグレードされていることを確認します。

```
Switch>show version
```

```
System MAC Address: AA-BB-CC-DD-EE-FF
```

```
Unit ID 1
```

```
Module Name: DXS-3610-54T
```

```
H/W: A1
```

```
Runtime: 1.01.B031
```

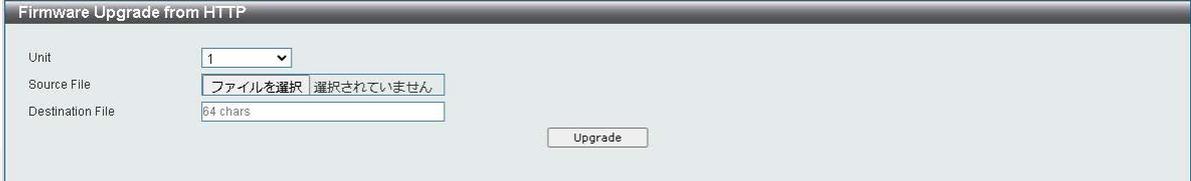
```
Switch>
```

Web GUI を使用したアップグレード

1. Java SE runtime environment をダウンロードして、お客様の PC にインストールします。
2. システムの IP アドレスを指定してスイッチにアクセスします。デフォルトのシステム IP アドレスは 10.90.90.90 です。
3. お客様の PC から RJ45 ネットワークケーブル経由でスイッチにアクセスできることを確認し、Web 管理画面からログインしてください。
「User Name」(ユーザ名)と「Password」(パスワード)の初期値は「admin」です。
4. HTTP、TFTP、FTP、RCP のいずれか経由でファームウェアアップグレードを実行します。

HTTP 経由でファームウェアアップグレードを実行する

Tools > Firmware Upgrade & Backup > Firmware Upgrade from HTTP の順にクリックし、必要な情報を入力します。



- Unit: ユニットを選択します。
- Source File : 「ファイルを選択」をクリックしてローカル PC 上のファームウェアファイルの場所を指定します。
- Destination File : ファームウェアが保存されるスイッチの場所を指定します。
(例 : c:/DXS3610_A1_FW1_01_B031.had)

TFTP 経由でファームウェアアップグレードを実行する

Tools > Firmware Upgrade & Backup > Firmware Upgrade from TFTP の順にクリックし、必要な情報を入力します。

- Unit: ユニットを選択します。
- TFTP Server IP: 「IPv4」または「IPv6」を選択し、TFTP サーバの IP アドレスを入力します。
- VRF Name (EI モードのみ) : VRF インスタンス名を入力します。
- Source File : TFTP サーバ上にあるファームウェアのパスとファイル名を入力します。
- Destination File : ファームウェアが保存されるスイッチの場所を指定します。
(例 : c:/DXS3610_A1_FW1_01_B031.had)

FTP 経由でファームウェアアップグレードを実行する

Tools > Firmware Upgrade & Backup > Firmware Upgrade from FTP の順にクリックし、必要な情報を入力します。

- Unit: ユニットを選択します。
- FTP Server IP: 「IPv4」または「IPv6」を選択し、FTP サーバの IP アドレスを入力します。
- TCP Port (1-65535) : TCP ポート番号を指定します。
- User Name: FTP 接続に使用するユーザ名を指定します。
- Password: FTP 接続に使用するパスワードを指定します。
- VRF Name (EI モードのみ) : VRF インスタンス名を入力します。
- Source File : FTP サーバ上にあるファームウェアのパスとファイル名を入力します。
- Destination File : ファームウェアが保存されるスイッチの場所を指定します。
(例 : c:/DXS3610_A1_FW1_01_B031.had)

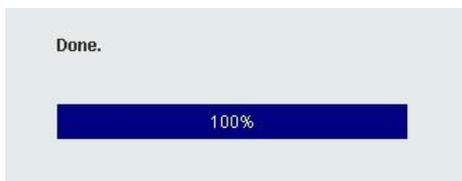
RCP 経由でファームウェアアップグレードを実行する

Tools > Firmware Upgrade & Backup > Firmware Upgrade from RCP の順にクリックし、必要な情報を入力します。

- Unit: ユニットを選択します。
- RCP Server IP: RCP サーバの IP アドレスを入力します。
- User Name: RCP 接続に使用するユーザ名を指定します。
- Source File : RCP サーバ上にあるファームウェアのパスとファイル名を入力します。
- Destination File : ファームウェアが保存されるスイッチの場所を指定します。
(例 : c:/DXS3610_A1_FW1_01_B031.had)

5. 「Upgrade」 ボタンをクリックします。

6. ステータス画面が表示されます。「Done.」(完了) ステータスを確認後、本画面を閉じます。



注意：ファームウェアのダウンロード中およびスイッチの再起動中に、電源を切らないでください。電源を切ると、起動に失敗し、起動できなくなることがあります。故障の原因となりますので、ご注意ください。

7. **Management > File System** の順にクリックし、ブートアップイメージの指定を行います。以下の画面で Drive 欄の C: をクリックします。

Drive	Media Type	Size (MB)	File System Type	Label
<u>C:</u>	Flash	29797	other	

8. R1.00.B031 のファームウェアが存在することを確認し、「Boot File」をクリックします。

File System

Unit: 1

Path: c:/

Buttons: Previous, Create Directory, Copy, **Boot File**

Index	Attr	Size (byte)	Update Time	Name	
1	-rw	4350	May 11 2023 00:04:13	config.cfg	Rename Delete
2	-rw	2508	Mar 31 2023 16:34:10	test.cfg	Rename Delete
3	d--	4096	May 19 2023 01:02:48	system	Delete
4	-rw	50004512	Apr 13 2023 02:38:39	dxs-3610-R1.01.B030...	Rename Delete
5	-rw	49947168	May 19 2023 00:59:01	DXS3610_A1_FW1_00_B0...	Rename Delete
6	-rw	2886	May 19 2023 01:02:48	mstp.cfg	Rename Delete
7	-rw	9287	Apr 24 2023 00:39:16	config_new.cfg	Rename Delete
8	-rw	49943072	Apr 03 2023 12:51:54	DXS-3610-R1.00.B052...	Rename Delete
9	-rw	50004512	May 19 2023 01:12:02	DXS3610_A1_FW1_01_B0...	Rename Delete

31245213696 bytes total (30971289600 bytes free)

1/1

9. R1.00.B031 をブートアップファイルに指定し、「Apply」をクリックします。

File System

Unit: 1

Path: c:/

Go

Boot File

Unit: 1

Boot Image: C:/firmware.had

Boot Configuration: C:/config.cfg

Apply Cancel

Unit	Boot Image	Boot Configuration
1	/c:/dxs-3610-R1.01.B031.had	/c:/mstp.cfg

- Unit : ユニットを選択します。
- Boot Image : ブートイメージファイルのパスを入力します。
(例 : c:/ DXS3610_A1_FW1_01_B031.had)
- Boot Configuration : ブートコンフィグファイルのパスを入力します。

10. ブートファイルの指定に成功すると「Success」と表示されるので、画面の「OK」をクリックします。

11. スイッチを再起動します。

Tools > Reboot System をクリックし、「Reboot」をクリックします。

注意: スイッチの再起動中に、電源を切らないでください。再起動中に電源を切ると、起動に失敗し、起動できなくなることがあります。故障の原因となりますので、ご注意ください。

12. システムの再起動後にログインし、ファームウェアのバージョンがアップグレードされていることを確認します。

追加機能 :

ファームウェアバージョン	追加機能
R1.01.B031	<ol style="list-style-type: none"> 1. VE ID の設定可能範囲を 0-63 から 0-200 に変更致しました。 2. BFD(Bidirectional Forwarding Detection)機能において、BFD 制御パケットを送信する最小間隔値の設定範囲を 10-1000 (ミリ秒) に変更致しました。 3. BFD(Bidirectional Forwarding Detection)機能において、受信 BFD パケットの最小間隔値の設定範囲を 10-1000 (ミリ秒) に変更致しました。 4. ACL ログの機能を強化致しました。(デバッグモードのみ)

MIB 及び D-View Module の変更点 :

ファームウェアバージョン	変更点
R1.01.B031	IEEE8021-Q-BRIDGE-MIB をアップデート致しました。

CLI の変更点 :

ファームウェアバージョン	変更点
R1.01.B031	<ol style="list-style-type: none"> 1. アクセスリストのデバッグコマンドを追加致しました。 - debug acl_log access-list ACCESS-LIST-NUMBER sequence-number SEQUENCE-NUMBER - no debug acl_log access-list ACCESS-LIST-NUMBER [sequence-number SEQUENCE-NUMBER] - debug acl_log show [access-list ACCESS-LIST-NUMBER]

修正した問題点 :

ファームウェアバージョン	修正した問題点
R1.01.B031	<ol style="list-style-type: none"> 1. 設定内容によっては CoS Color Mapping 機能が正しく動作しない場合がある問題を修正致しました。 2. スタック時にスイッチがリブートする場合がある問題を修正致しました。 3. VAPT 診断の実行後に SSH が応答不可になり、スイッチが再起動する問題を修正致しました。 4. Web GUI から 50 以上の VLAN を設定すると Exception が発生する問題を修正致しました。 5. スイッチの再起動スケジュール設定が正しく動作しない問題を修正致しました。 6. "show ipv6 dhcp binding"により、再起動する場合がある問題を修正致しました。 7. VLAN インタフェースの作成時、"LocalCirclInfo error"のエラーメッセージが表示され、作成に失敗する場合がある問題を修正致しました。 8. 未作成の Port-channel を指定して"show run interface"コマンドを実行した場合、デフォルト値の一部が表示される問題を修正致しました。

既知の問題：

ファームウェアバージョン	問題点
R1.01.B031	1. 何度も連続して再起動を行った場合に、ごく稀に起動に失敗することがある問題（チップ制限） 解消方法：再度、再起動することで解消します。

Copyright 2006-2023 D-Link Japan K.K.